

2021年1月29日

第4回 番組審議委員会 議事録

○日 時：2021年1月22日(金) 18時～19時

○場 所：成美教育文化会館 3F

○内 容：・FMひがしくるめの営業概況

・放送番組の紹介 ※くるめラマガジン・番組表より

・番組の試聴 ※収録CDより

・試聴番組及び放送番組全体への意見・感想 質疑応答

○委員会出席者

岩崎哲二(委員長) / 東久留米市商工会 事務局長 *委員会の司会進行

井上淑子 / 東久留米市文化協会 副会長

植田貴俊 / 清瀬市役所 秘書広報課長

新井啓明 / ルネこだいら 事業課長

栗原孝典 / 東久留米氷川神社 禰宜

※島崎修(東久留米市役所産業政策課長)は所用のため欠席

*FMひがしくるめ出席者

高橋靖(代表取締役) 土田健太郎(取締役) 鈴木実穂(取締役) 小梶雅善(局長)

1. FMひがしくるめ営業概況 / 局長より報告

- ・昨年からのコロナ禍で、ゲスト出演や現場レポート、取材等、中止・縮小が続く。
- ・反面、昨年は番組が質・量ともに飛躍的に向上。昨年初からのボランティアスタッフ中心の運営体制が奏功。全員が精力的に番組づくりに取り組んだ。
- ・中でも昨年大反響をいただいた以下2つの番組について事例紹介。
 - ①「先生から児童への応援メッセージ」 コロナ禍の昨年5月に放送
 - ②「市制施行50周年特別番組」 市長をホスト役に地元有力者が出演 昨年10月放送

2. FMひがしくるめ番組紹介 / 局長より番組表を元に紹介

- ・放送枠を23時まで拡大。聴取者の年代や生活時間帯に合わせて番組編成を3つのゾーンに区分。それぞれに地域性・テーマ性・エンタメ性の要素を取り入れた放送を行う。

3. 番組の試聴 / 収録CDより

- ・以下の番組を視聴。視聴時間は約15分。

1/8(金)・10時～放送 「ゆったりくるめラ」パーソナリティ：柳瀬コロー&松田はじめ

*「ゆったりくるめラ」 平日：10:00～12:00 ※木曜日 11:00 台は除く

- ・情報性・地域性・エンタメ性等を取り入れた2時間番組。
- ・曜日ごとに、お買い得情報、映画、Book、家庭料理等の情報を定期的に紹介。

4. 試聴番組及び放送番組全体への意見・感想 質疑応答

(栗原委員) 昨年5月コロナ禍での「先生から児童への応援メッセージ」は大変素晴らしい内容でした。コミュニティ放送局ならではの企画で、家族全員で楽しく聴かせていただいた。

- ・この局はスタジオの外でも放送が聴けるようになっているが、市内でもこのような場所は存在するのか?
- ・(高橋) 今後はそうした場所を増やしたいと考えている。現状は取引先の数店舗で流されている。難聴取地域の店舗でもパソコンを通じて対応していただいている。流したいという店舗があればシステム面も含め応援させていただく。
- ・(植田委員) 月一度、放送に携わる時間がある。その時に感じるのはスタッフの皆さんの活気。雰囲気的に盛り上がりがある。充実した番組が増えていると推察できる。
- ・そうした中で、私達も柔軟に対応したいと思っている。先日、成人式の中止を踏まえ、祝・新成人の番組を局にお願いして放送いただいた。ネットワークを通じて地域の仲間にも協力を得て貴重な番組を制作・放送することができた。こうした動きを大切にして、今後も力になれば良いと思う。
- ・(新井委員) 番組表を見て、本当にオリジナル番組が増えたという印象。内容的にも多種多様で、これがまさにコミュニティFM局の真骨頂と思う。
- ・先程話題に上がった新成人の番組は、2~3日という短期間で企画制作したもの。その間、小平市の新成人2名にゲスト依頼する等、小回りが効くというのもFM局の真骨頂だと思う。
- ・コロナ禍で大変な時期であるが皆さんステイホームで頑張っている。こうした時こそコミュニティ放送局が媒体となって人と人を繋げる役割を果たして欲しい。期待している。
- ・(井上委員) 成人式が中止になり、東久留米市でも新成人の方々のお話しを市のホームページに掲載している。こうしたこともFM局を有効に活用すれば沢山の方々にメッセージをお伝えできると感じている。
- ・文化協会主催の様々なイベントがコロナ禍で中止になっている。その中で市民大学という大変人気の講座がある。先生方も充実している。FM局とパイプを太くし広くPRしたいと思う。
- ・(小椋) 先生方に番組でゲスト出演いただければ、より多くの市民が自宅で講義を聴くことができる。ぜひ活用ください。
- ・(高橋) イベントの事前告知や募集でもご利用ください。
- ・(井上委員) 「先生からの児童への応援メッセージ」はとても暖かい番組だった。

- ・(岩崎委員長) ラジオに届くリスナーからのお便りはどのルートから届くのか？
- ・(小椋) スマホの無料アプリ「FM プラプラ」のルートが大半。そこには簡単に瞬時にメッセージ送信可能なオプションがある。番組に会話形式で参加可能。
- ・(高橋) 番組内でメールアドレス、FAX 番号、FM プラプラの案内を行っているが、98%は FM プラプラルートだと思う。
- ・(岩崎委員長) ボランティアスタッフが増えているから FM 局が広がっている。認知度が高まっていると思う。商工会の会員も番組出演を希望されてる方が増えている。
- ・理想としては、市内の商店街でお買い得情報等が流れていて欲しい。
- ・コロナ禍、自宅で過ごす方が増えている。情報収集に皆さん市報を活用されているが字が小さすぎて読みづらい。特に年配の方は厳しい。FM ひがしくるめは地域の方法手段として頑張っていたきたい。商工会としても活用したいと思う。
- ・(植田委員) 清瀬市の加盟店スポンサーが減っていると聞いているが。
- ・(高橋) 市内の難聴取エリアや清瀬市および小平市への聴取エリア拡大をめざし、昨年からアンテナ移設・増力計画を進めている。国からの承認が下りれば、もっともっと沢山の方々に放送を聴いていただくことができる。清瀬市の皆様にも喜んでいただけたらと思う。
- ・(小椋) 清瀬市の加盟店は確かに減少しているが、電波が飛んでいない地域でもこれまで応援いただき大変感謝している。聴取エリアが拡大すればその地域の情報発信を強化する必要がある。ネットワークづくり、地域に詳しいスタッフの募集等、早急に対応して行かなければならないと思う。
- ・(新井委員) 武蔵大学の番組があるが、色々の立場の方達が参加すればもっともっと良い番組ができると思う。小平市には大学がいくつもある。彼らが参加できるようになれば新たなリスナーの拡大につながると思う。
- ・(高橋) 学校とラジオ局の繋がりには深いと思う。話題に上がったコロナ禍での小学校の番組は象徴的なもの。小学校でも先生を含めラジオに出たいという方が沢山いらっしゃる。子供達から父母への広がり、新たなリスナー層の掘り起こしも可能になる。
- ・武蔵大学は放送会のメンバーが番組を企画制作している。小平市の大学にも放送会があるかと思う。そうした皆さんをエリア拡大を機に巻き込んで行きたいと思う。